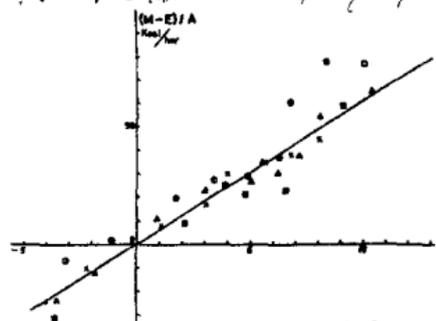


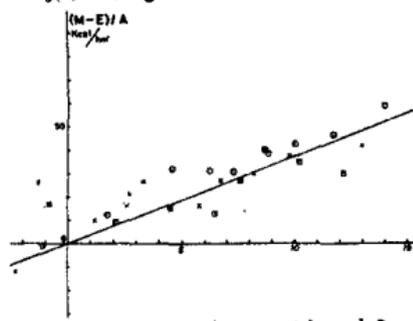
目的: 第1報に引き続き、合服(ブラウス、スカート、セーター)について着用実験を行って熱遮断能を測定したので報告する。

方法: 実験方法は第1報とほぼ同じであるが、測定条件を(10, 13, 16, 19, 22, 25, 28, 31, 34 °C 50%RH 無風)と作測側に移動した。

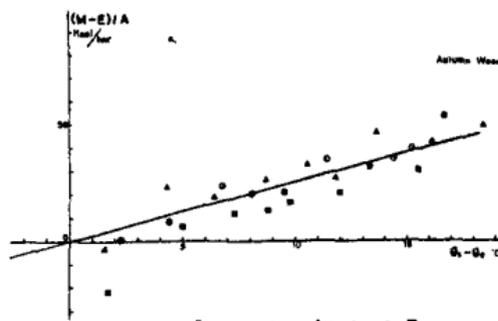
結果: 合服着用時の皮膚温、直腸温、体重減少量、皮膚血流量、代謝産熱量、心拍、呼吸数、血圧、温冷感、快適感などの体温調節系の特徴を得た。一般的特徴は夏服との傾向が更に強張り少である。被服の熱遮断能は図のように  $(M-E)/A$  と  $(t_{sk}-t_{a})$  の関係から、裸体時との比較によ、示された。裸体時の熱伝達率は  $6.26 \text{ kcal/m}^2\text{t}^{\circ}\text{C}$  となり、夏服着用時は  $3.71 \text{ kcal/m}^2\text{t}^{\circ}\text{C}$ 、合服着用時は  $2.52 \text{ kcal/m}^2\text{t}^{\circ}\text{C}$  となった。これはより被服の熱抵抗値は夏服で  $0.0944 \text{ }^{\circ}\text{C/W/m}^2$ 、合服で  $0.204 \text{ }^{\circ}\text{C/W/m}^2$  となった。



第1図 裸体時の熱伝達率



第2図 夏服着用時の熱伝達率



第3図 合服着用時の熱伝達率